

数值地図25000（空間データ基盤）
ファイル仕様

平成18年8月
国土交通省国土地理院

目次

1. 概要.....	3
2. 適用範囲.....	3
3. 参照する規程や標準規格等.....	3
4. 参照系.....	3
5. データ内容及び構造.....	3
5.1. 応用スキーマ.....	3
5.2. 符号化.....	3
6. 電子化仕様.....	3
6.1. CD-ROM のボリュームラベル.....	4
6.2. ファイルの単位と構成.....	4
6.3. 各フォルダ及びファイルの命名規則.....	4
6.4. テキストファイルの仕様.....	6
6.5. ファイルのサイズと圧縮.....	6
附属書 A. 数値地図 25000（空間データ基盤） - 応用スキーマ.....	7
A.1. クラス図.....	7
A.2. 地物定義.....	10
A.2.1. 道路パッケージ.....	10
A.2.2. 鉄道パッケージ.....	12
A.2.3. 交通施設パッケージ.....	13
A.2.4. 行政パッケージ.....	14
A.2.5. 水部パッケージ.....	15
A.2.6. 基準点パッケージ.....	17
A.2.7. 公共施設パッケージ.....	18
A.2.8. 地名パッケージ.....	19
A.2.9. メッシュ標高パッケージ.....	19
附属書 B. 数値地図 25000（空間データ基盤） - 符号化規則.....	21
B.1. 書式名称.....	21
B.2. 符号化要件.....	21
B.3. 入力データ構造.....	21
B.4. 出力データ構造.....	21
B.5. 変換規則.....	21
B.5.1. 行政区・海岸線データの XML スキーマファイル.....	21
B.5.2. スキーマ変換規則.....	21
B.5.2.1. タグ名.....	21
B.5.2.2. 名前空間.....	21
B.5.2.3. インスタンス変換規則.....	21
B.5.2.3. 変換規則におけるそのほかの事項.....	26
B.5.2.4. 数値地図 25000（空間データ基盤）データ固有の XML スキーマ.....	26
B.6. 言語.....	27
B.7. 配布媒体情報.....	27
B.7.1. 単位.....	27
附属書 C. 数値地図 25000（空間データ基盤） - XML SCHEMA 記述.....	28

1. 概要

国土交通省国土地理院においては、2万5千分1地形図から、全国の道路、鉄道、行政界、河川、公共施設や標高等をベクトル形式で数値化した「数値地図 25000 (空間データ基盤)」(以下、「25000 データ」という。)を刊行している。

本仕様は、地理情報標準に準拠した 25000 データについてのものであり、ファイル構成、応用スキーマ及び実装方法を記した符号化規則等を具体的に示すことを目的としている。

2. 適用範囲

本仕様は、地理情報標準に準拠した平成 16 年度以降の「数値地図 25000 (空間データ基盤)」に適用するものである。

3. 参照する規程や標準規格等

- 1) 地理情報標準プロファイル (JPGIS) Ver. 1.0
- 2) 数値地図 25000 (空間データ基盤) 作成作業要領
- 3) 国土地理院数値地図標準仕様
- 4) 平成 14 年 2 万 5 千分 1 地形図図式

4. 参照系

座標参照系は、参照系識別子 : JGD2000 / (B,L)を参照する。

時間参照系は、参照系識別子 : JC / JSTを参照する。

5. データ内容及び構造

5.1. 応用スキーマ

「数値地図 25000 (空間データ基盤) 応用スキーマ」(以下、「応用スキーマ」という。)は、25000 データに、どのような地物が存在し、各地物がどのような関係や属性を持っているのか、模式的に表現したものである。この記述には、JPGIS 1.0 で指定されている統一モデリング言語 (以下、「UML」という。)のクラス図を利用している。

なお、応用スキーマのための規則において記述が指定されている各地物の定義や定義域については、地物カタログ化法の規則に準じて記述した。

具体的な応用スキーマは、本仕様の「附属書 A」で記述する。

5.2. 符号化

「数値地図 25000 (空間データ基盤) 符号化規則」(以下、「符号化規則」という。)は、応用スキーマを元に、特定のシステムに帰属しない電子的な実装について具体的に規定するためのものである。本仕様では、符号化規則に、JPGIS 1.0 の「附属書 8(参考) XML に基づく符号化規則」(以下、「JPGIS 附属書-符号化規則」という。)を利用するものとし、必要に応じて、補足的に符号化仕様を記述している。

具体的な符号化規則は、本仕様の「附属書 B」で定める。また、符号化規則に合わせ定めた XML Schema ファイルの出力も「附属書 C」に載せている。

6. 電子化仕様

符号化されたデータは、実際のファイルシステム上で実装されることで電子計算機上で利用可能となる。本項では、実際の電子化について定める。

本仕様では、25000 データを、CD-ROM (ファイルシステム : Joliet) に格納することを前提とする。25000 データ-符号化規則において許容される事項についても、電子化仕様により制限を受ける場合がある (例 : ファイルシステムの制限によるファイル命名における禁則文字の禁止や、1 ファイルあたりのデータサイズなど)。

6.1. CD-ROM のボリュームラベル

CD-ROM のボリュームラベルは、半角 ASCII 文字で、下記のとおりとする。

管理コード “_DM25000SDF_” 地域名

「管理コード」は、国土地理院で、刊行 CD-ROM のボリュームラベルについて、管理するためのコード。

「地域名」は、下記の都道府県を識別する文字列を充てる。北海道については、7つの地域名とする。

網走・根室	“ABASHIRI_NEMURO”	上川・宗谷	“KAMIKAWA_SOYA”
空知・留萌	“SORACHI_RUMOI”	石狩・後志	“ISHIKARI_SHIRIBESHI”
十勝・釧路	“TOKACHI_KUSHIRO”	胆振・日高	“IBURI_HIDAKA”
渡島・檜山	“OSHIMA_HIYAMA”	青森県	“AOMORI”
岩手県	“IWATE”	宮城県	“MIYAGI”
山形県	“YAMAGATA”	福島県	“FUKUSHIMA”
神奈川県	“KANAGAWA”	埼玉県	“SAITAMA”
茨城県	“IBARAKI”	栃木県	“TOCHIGI”
山梨県	“YAMANASHI”	新潟県	“NIIGATA”
富山県	“TOYAMA”	石川県	“ISHIKAWA”
愛知県	“AICHI”	岐阜県	“GIFU”
三重県	“MIE”	大阪府	“OSAKA”
京都府	“KYOTO”	滋賀県	“SHIGA”
和歌山県	“WAKAYAMA”	鳥取県	“TOTTORI”
岡山県	“OKAYAMA”	広島県	“HIROSHIMA”
徳島県	“TOKUSHIMA”	香川県	“KAGAWA”
高知県	“KOCHI”	福岡県	“FUKUOKA”
長崎県	“NAGASAKI”	熊本県	“KUMAMOTO”
宮崎県	“MIYAZAKI”	鹿児島県	“KAGOSHIMA”
			秋田県 “AKITA”
			東京都 “TOKYO”
			千葉県 “CHIBA”
			群馬県 “GUNMA”
			長野県 “NAGANO”
			福井県 “FUKUI”
			静岡県 “SHIZUOKA”
			兵庫県 “HYOGO”
			奈良県 “NARA”
			島根県 “SHIMANE”
			山口県 “YAMAGUCHI”
			愛媛県 “EHIME”
			佐賀県 “SAGA”
			大分県 “OITA”
			沖縄県 “OKINAWA”

6.2. ファイルの単位と構成

ファイル単位と構成は、次ページの図1のとおりである。25000 データは、大きく都道府県（北海道は、7つの地域）単位毎にそれぞれを CD-ROM に格納する。1 枚の CD-ROM には、格納した地域について市区町村毎のフォルダがあり、実際のデータファイルが格納される。データファイルは、応用スキーマで定められた、メッシュ標高データとそれ以外の2種類のデータに分かれている。

6.3. 各フォルダ及びファイルの命名規則

ファイルの名前に使用される文字については、CD-ROM のファイルシステムの制限に準ずるものとし、大文字と小文字を区別(case sensitive)する。

1) データフォルダ

都道府県（北海道は、7つの地域）に分割された、25000 データファイルを格納するフォルダ。

命名規則： 都道府県コード 都道府県名

2桁の都道府県コードを接頭辞とした、都道府県名とする。

都道府県コードは、都道府県を識別する2桁の数字列。右詰で、桁を満たさない場合は、‘0’ (::=#x0030) で埋める。

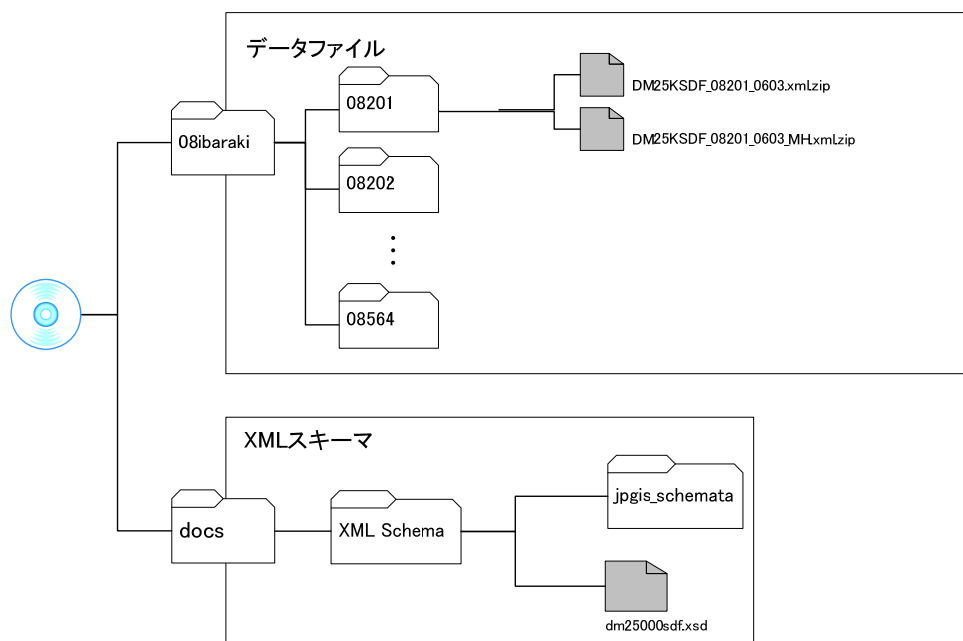


図 1. ファイルの構成

都道府県名は、下記に定める文字列を充てる。北海道については、7つの地域に分割されているため、下記の地域名とする。

網走・根室	“abashiri_nemuro”	上川・宗谷	“kimikawa_soya”
空知・留萌	“sorachi_rumoi”	石狩・後志	“ishikari_shiribeshi”
十勝・釧路	“tokachi_kushiro”	胆振・日高	“iburi_hidaka”
渡島・檜山	“oshima_hiyama”		
青森県	“aomori”	岩手県	“iwate”
秋田県	“akita”	山形県	“yamagata”
東京都	“tokyo”	神奈川県	“kanagawa”
千葉県	“chiba”	茨城県	“ibaraki”
群馬県	“gunma”	山梨県	“yamanashi”
長野県	“nagano”	富山県	“toyama”
福井県	“fukui”	愛知県	“aichi”
静岡県	“shizuoka”	三重県	“mie”
兵庫県	“hyogo”	京都府	“kyoto”
奈良県	“nara”	和歌山県	“wakayama”
島根県	“shimane”	岡山県	“okayama”
山口県	“yamaguchi”	徳島県	“tokushima”
愛媛県	“ehime”	高知県	“kochi”
佐賀県	“saga”	長崎県	“nagasaki”
大分県	“oita”	宮崎県	“miyazaki”
沖縄県	“okinawa”	宮城県	“miyagi”
		福島県	“fukushima”
		埼玉県	“saitama”
		栃木県	“tochigi”
		新潟県	“niigata”
		石川県	“ishikawa”
		岐阜県	“gifu”
		大阪府	“osaka”
		滋賀県	“shiga”
		鳥取県	“tottori”
		広島県	“hiroshima”
		香川県	“kagawa”
		福岡県	“fukuoka”
		熊本県	“kumamoto”
		鹿児島県	“kagoshima”

例 1： 茨城県のフォルダ

“08ibaraki”

例 2： 空知・留萌のフォルダ

“01sorachi_rumoi”

2) 市区町村フォルダ

市区町村毎に分割された、実際の 25000 データファイルを格納するフォルダ。

命名規則： 地方公共団体コード

地方公共団体コードは、地方公共団体を識別する 5 桁の数字列。右詰で、桁を満たさない場合は、‘0’ (::=#x0030) で埋める。

例 1： 茨城県つくば市のフォルダ “08220”

例 2： 東京都千代田区のフォルダ “13101”

3) データファイル

XML 形式のデータファイル。データファイルは、応用スキーマで定められたメッシュ標高データと、それ以外の 2 種類のデータで構成される。

<メッシュ標高以外のデータ>

命名規則：“DM25KSDF_” 地方公共団体コード “_” 日付 “.xml”

接頭辞“DM25000SDF_”に、地方公共団体コード、日付を並べたものとする。

地方公共団体コードは、地方公共団体を識別する 5 桁の数字列。右詰で、桁を満たさない場合は、‘0’ (::=#x0030) で埋める。

日付は、データの刊行日を表す 4 桁の数字列とし、上 2 桁は、西暦の下 2 桁、下 2 桁は、月の 2 桁とする。桁を満たさない場合は、‘0’ (::=#x0030) で埋める。例えば平成 18 年 (2006 年) 3 月刊行のデータの場合は、“0603”となる。

例：平成 18 年版 3 月刊行のさいたま市中央区のデータファイル

“DM25KSDF_11105_0603.xml”

<メッシュ標高データ>

命名規則：“DM25KSDF_” 地方公共団体コード “_” 日付 “_MH.xml”

接頭辞“DM25000SDF_”に、地方公共団体コード、日付、接尾文字として”_MH”を付けたものとする。

地方自治体コードは、地方公共団体を識別する 5 桁の数字列。右詰で、桁を満たさない場合は、‘0’ (::=#x0030) で埋める。

日付は、データの刊行日を表す 4 桁の数字列とし、上 2 桁は、西暦の下 2 桁、下 2 桁は、月の 2 桁とする。桁を満たさない場合は、‘0’ (::=#x0030) で埋める。例えば平成 18 年 (2006 年) 3 月刊行のデータの場合は、“0603”となる。

例：平成 18 年版 3 月刊行のさいたま市中央区のメッシュ標高データファイル

“DM25KSDF_11105_0603_MH.xml”

9) 数値地図 25000 (空間データ基盤) データ XML Schema スキーマファイル

附属書 B「数値地図 25000(空間データ基盤)-符号化規則」で定める。

6.4. テキストファイルの仕様

テキストファイルにおける改行は、復帰(CR:0x0D)+ラインフィード(LF:0x0A)の 2 バイトとする。

6.5. ファイルのサイズと圧縮

XML ファイルは、データサイズが大きくなる可能性があるため、原則的に zip 形式で圧縮するものとする。圧縮は、XML で記述された各データファイル毎とし、ファイルの名称は、元のファイル名 (元ファイルの拡張子も含む) に拡張子 “.zip” を接尾したものとする。

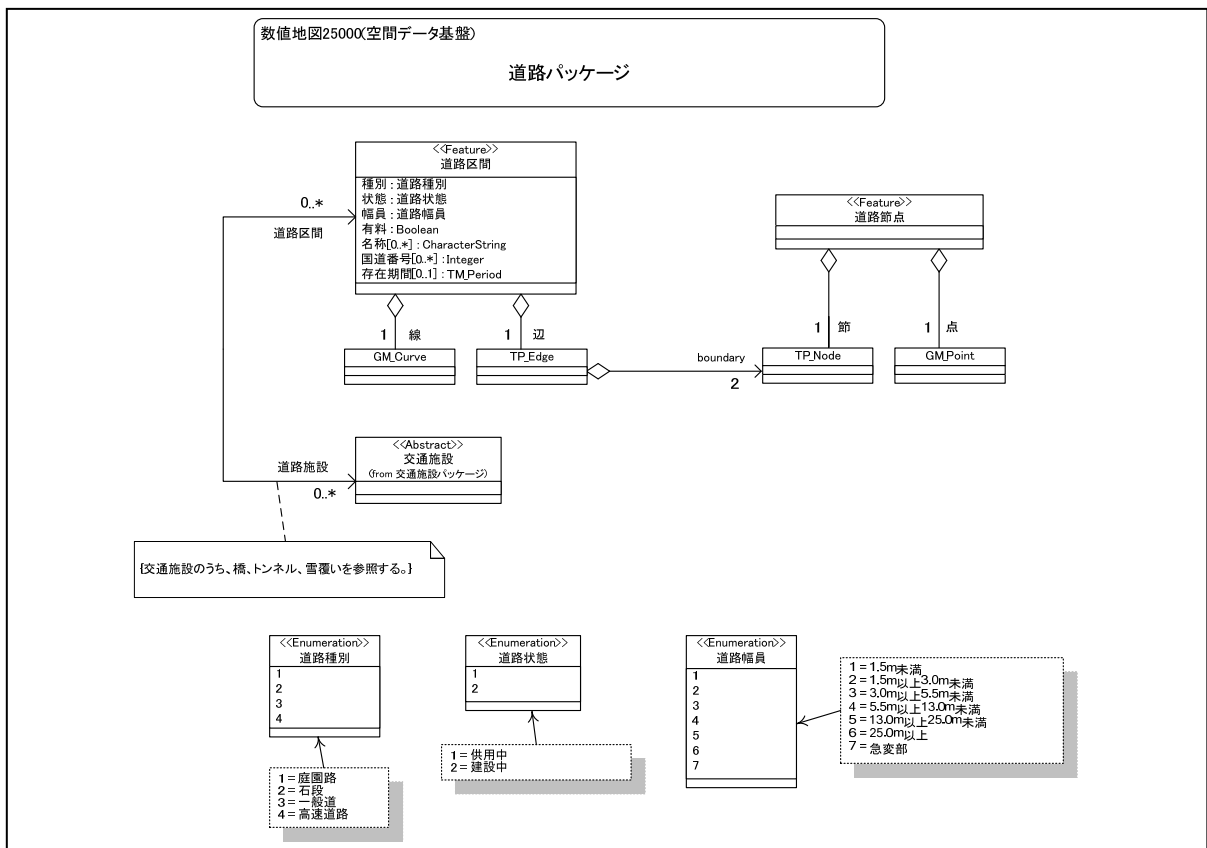
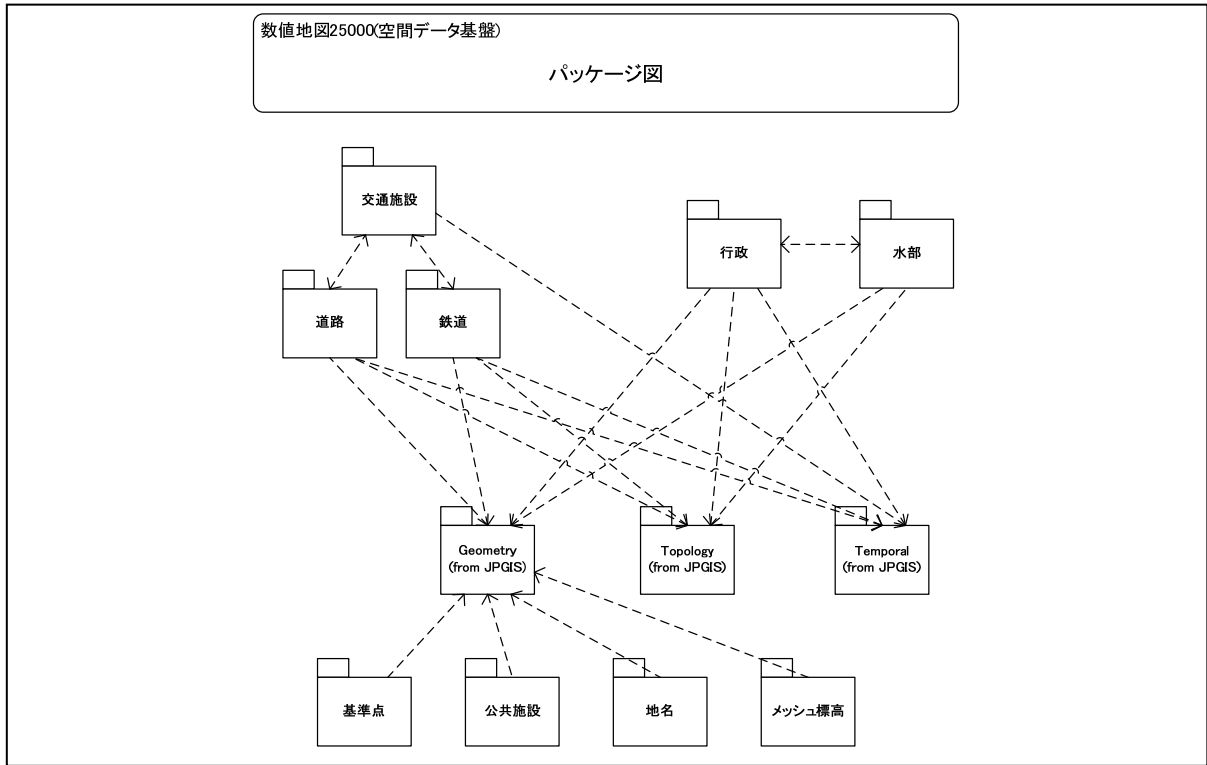
例：平成 18 年版 3 月刊行のさいたま市中央区のデータファイル

“DM25KSDF_11105_0603.xml.zip”

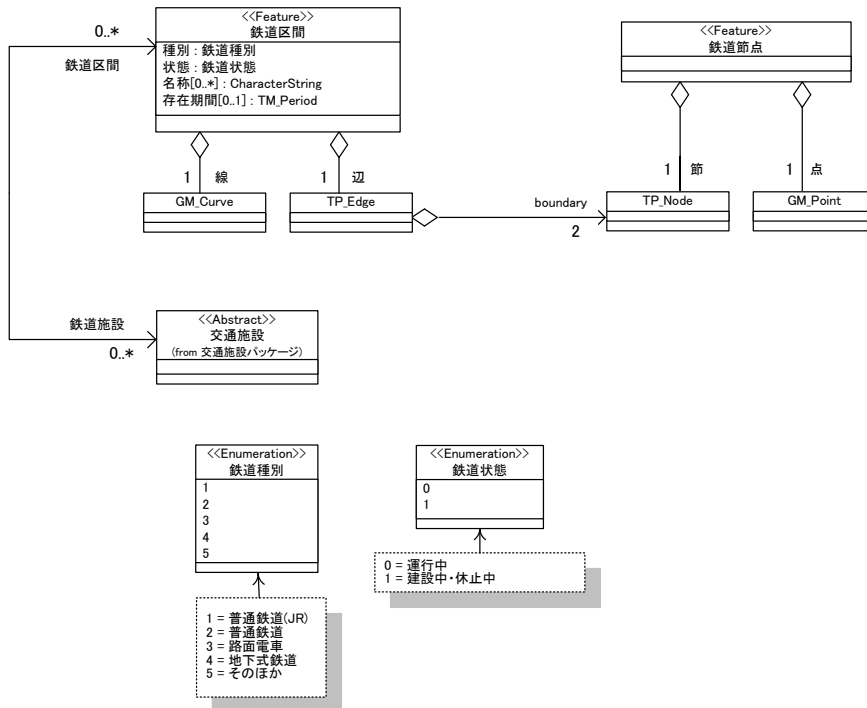
附属書 A

数値地図 25000（空間データ基盤） - 応用スキーマ

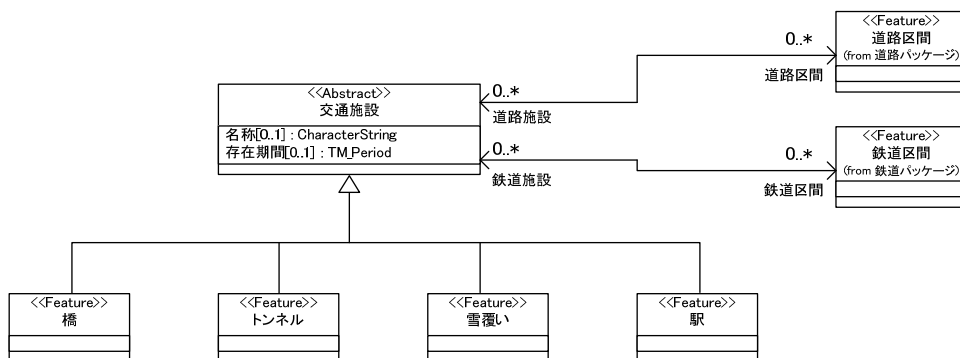
A.1. クラス図



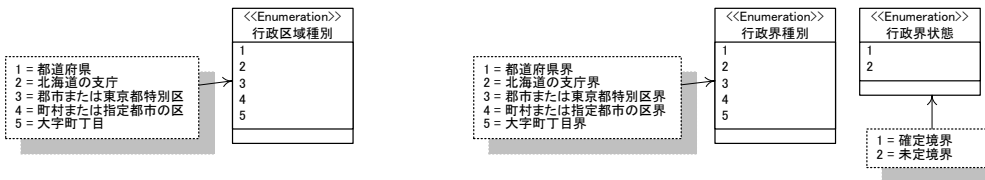
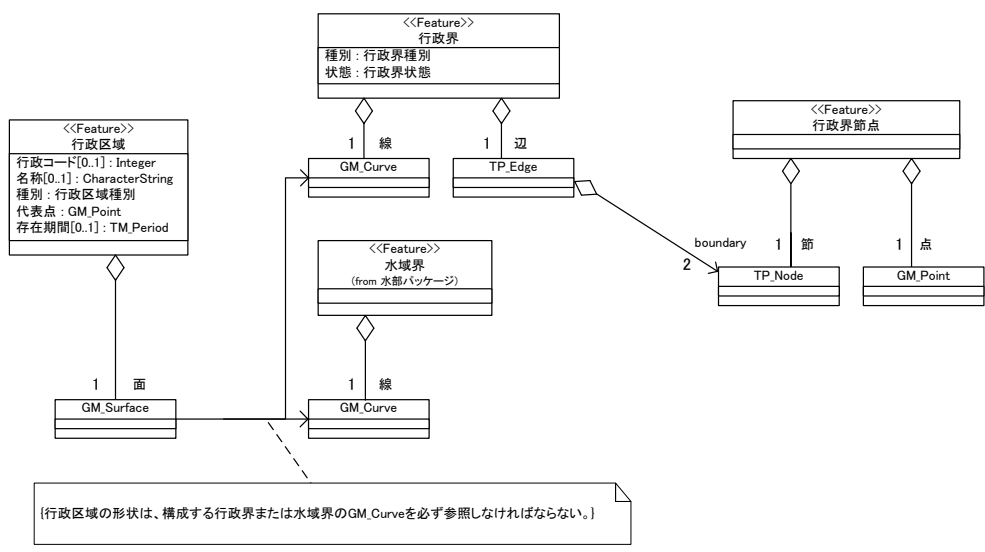
鉄道パッケージ



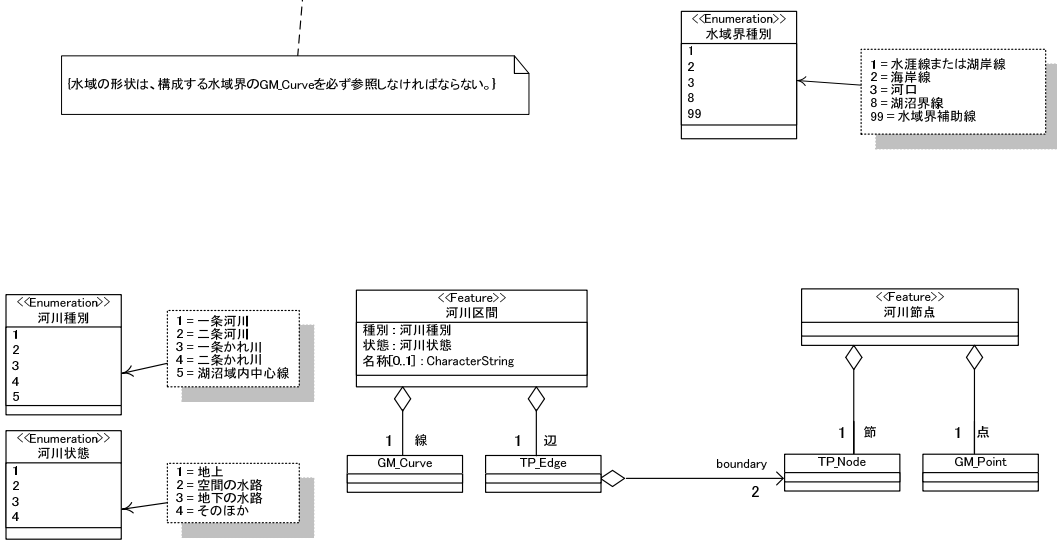
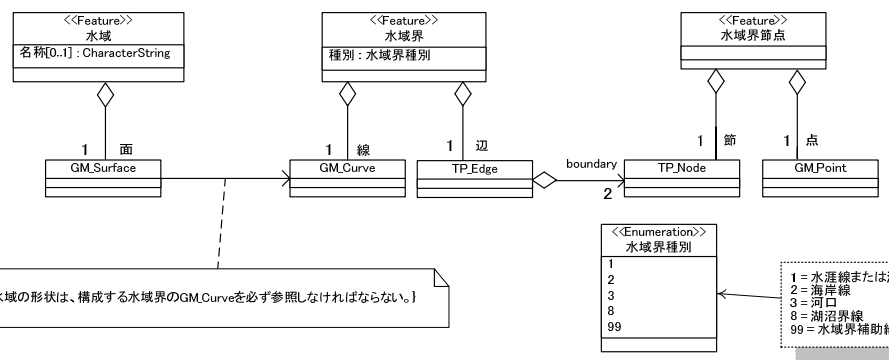
交通施設パッケージ

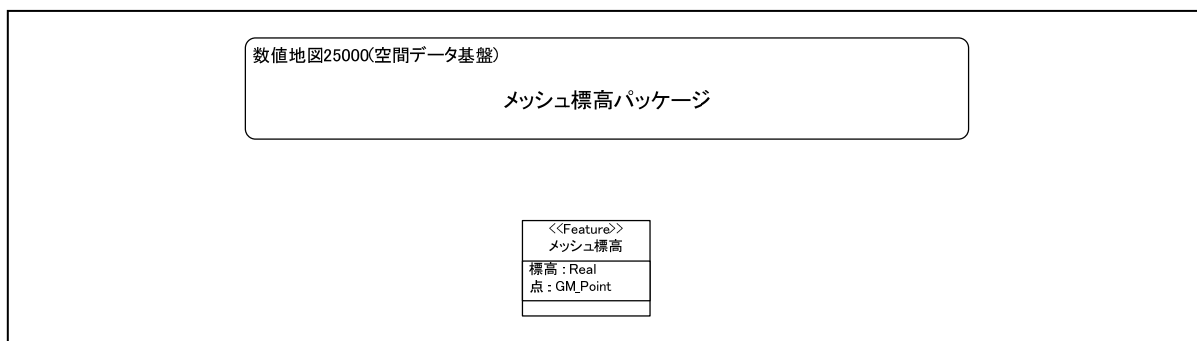
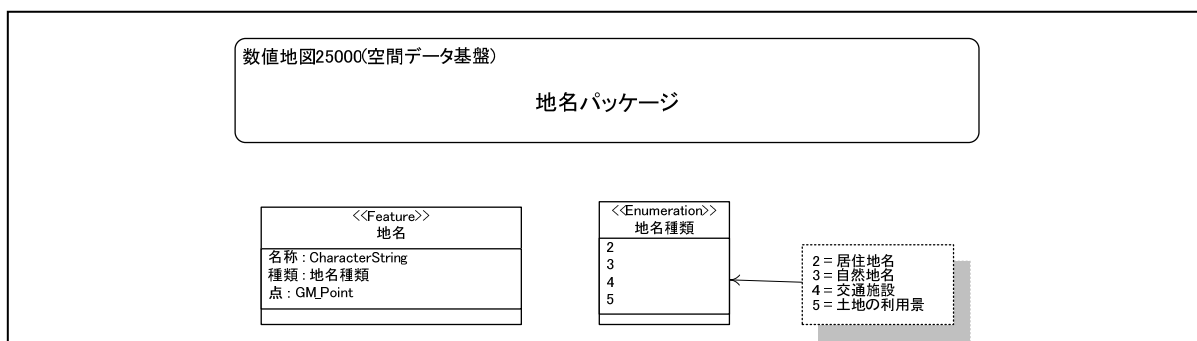
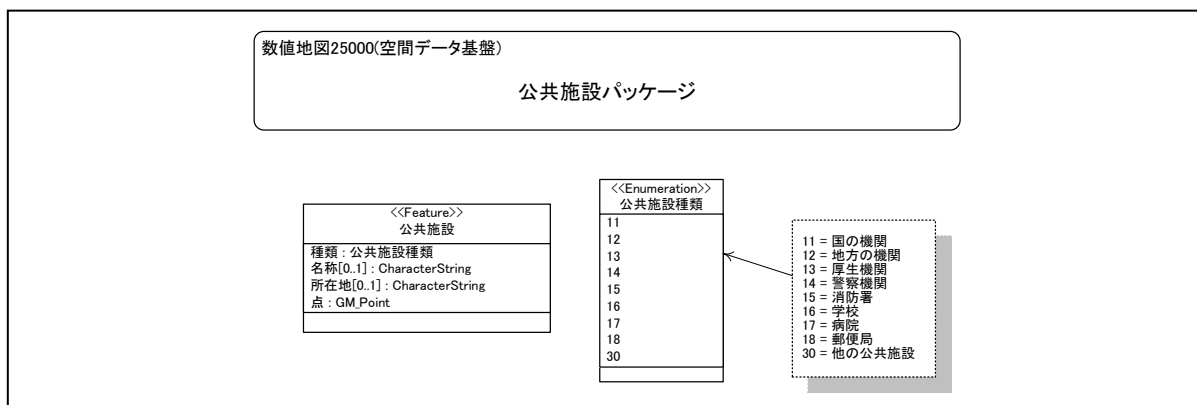
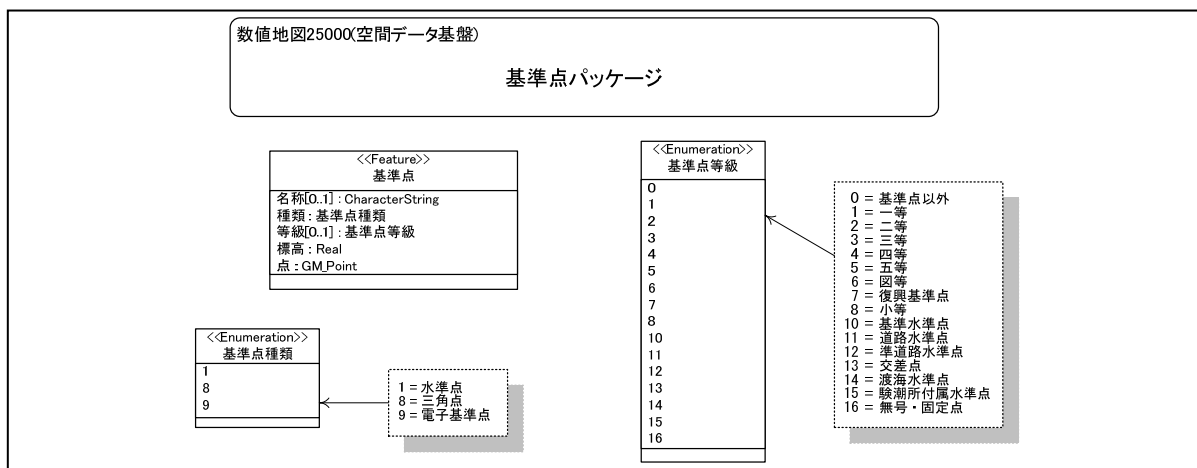


数値地図25000(空間データ基盤)
行政パッケージ



数値地図25000(空間データ基盤)
水部パッケージ





A.2. 地物定義

A.2.1. 道路パッケージ

道路パッケージは、道路ネットワークを構成する基本的な地物を集めたものである。対象地物は、地物型として定義されている道路区間、道路節点である。なお、定義されている各地物

は、別の地物カタログを参照していない。

地物	道路区間			
定義	自動車等の交通のために設けた地上の通路を示す線状地物。			
備考	道路区間は、国土地理院の平成14年2万5千分1地形図図式（平成15年11月11日発行）の付録C「データ形式」（以下、「図式-データ形式」）で記述された地形図原データのうち、「道路・街路中心線」について抽出したものである。			
抽象/具象区分	具象			
空間属性				
属性名	線	多重度	1	型 GM_Curve
定義	道路区間を構成する線。			
属性名	辺	多重度	1	型 TP_Edge
定義	道路区間の接続情報を保存するための位相属性。			
主題属性				
属性名	種別	多重度	1	型 道路種別
定義	道路の種類を示す。			
備考	予め列挙型として定義される下記の数字で示す。 1 = 庭園路 2 = 石段 3 = 一般道 4 = 高速道路			
属性名	状態	多重度	1	型 道路状態
定義	道路の状態を示す。			
備考	予め列挙型として定義される下記の数字で示す。 1 = 供用中 2 = 建設中			
属性名	幅員	多重度	1	型 道路幅員
定義	道路の幅員を示す。			
備考	予め列挙型として定義される下記の数字で示す。 1 = 1.5m 未満 2 = 1.5m 以上 3.0m 未満 3 = 3.0m 以上 5.5m 未満 4 = 5.5m 以上 13.0m 未満 5 = 13.0m 以上 25.0m 未満 6 = 25.0m 以上 7 = 急変部			
属性名	有料	多重度	1	型 Boolean
定義	道路が有料かどうかを示す。			
備考	予め列挙型として定義される下記の数字で示す。 True = 有料 False = 無料			
属性名	名称	多重度	0..*	型 CharacterString
定義	主な道路の名称を記載する。			
備考	主なインターチェンジ(IC)、ジャンクション(JCT)、サービスエリア(SA)、パーキングエリア(PA)の名称についても記載する。			
属性名	国道番号	多重度	0..*	型 Integer
定義	主な国道について、国道番号を整数値で記載する。			
属性名	存在期間	多重度	0..1	型 TM_Period
定義	地物が有効である期間を示す。 道路区間の場合、道路が建設中、または供用中として存在している期間を指す。			
備考	不明等の場合、「存在期間」属性を記述しない。			

地物	道路節点		
定義	道路区間の端点に位置する道路の接続情報を提供する点。		
抽象/具象区分	具象		
空間属性			
属性名	点	多重度	1 型 GM_Point
定義	道路節点の位置情報を格納する。		
備考	含まれる道路区間の該当する端点の空間的位置と一致する。		
属性名	節	多重度	1 型 TP_Node
定義	道路区間における接続情報を提供するための位相属性。		
備考	節は、接続する辺を格納するための spoke を持たないので、接続情報は、道路区間が持つ辺から算出する。		

A.2.2. 鉄道パッケージ

鉄道パッケージは、鉄道ネットワークを構成する基本的な地物を集めたものである。対象地物は、地物型として定義されている鉄道区間、鉄道節点である。なお、定義されている各地物は、別の地物カタログを参照していない。

地物	鉄道区間		
定義	車両の走行のため、レールを設けた軌道及び索道を示す線状地物。		
備考	鉄道区間は、図式-データ形式で記述された地形図原データのうち、「鉄道」について抽出したものである。		
抽象/具象区分	具象		
空間属性			
属性名	線	多重度	1 型 GM_Curve
定義	鉄道区間を構成する線。		
属性名	辺	多重度	1 型 TP_Edge
定義	鉄道区間の接続情報を保存するための位相属性。		
主題属性			
属性名	種別	多重度	1 型 鉄道種別
定義	鉄道の種類を示す。		
備考	予め列挙型として定義される下記の数字で示す。 1 = 普通鉄道 (JR) 2 = 普通鉄道 3 = 路面電車 4 = 地下式鉄道 5 = そのほか		
属性名	状態	多重度	1 型 鉄道状態
定義	鉄道の状態を示す。		
備考	予め列挙型として定義される下記の数字で示す。 0 = 運行中 1 = 建設中・休止中		
属性名	名称	多重度	0..* 型 CharacterString
定義	鉄道名や路線名称を記載する。		
備考	JR 線については、路線名のみを記載する。		
属性名	存在期間	多重度	1 型 TM_Period
定義	地物が有効である期間を示す。 鉄道区間の場合、鉄道が建設中・休止中、または運行中として存在している期間を指す。		
備考	不明等の場合、「存在期間」属性を記述しない。		

地物	鉄道節点		
定義	鉄道区間の端点に位置する鉄道の接続情報を提供する点。		
抽象/具象区分	具象		
空間属性			
属性名	点	多重度	1 型 GM_Point
定義	鉄道節点の位置情報を格納する。		
備考	含まれる鉄道区間の該当する端点の空間的位置と一致する。		
属性名	節	多重度	1 型 TP_Node
定義	鉄道区間における接続情報を提供するための位相属性。		
備考	節は、接続する辺を格納するための spoke を持たないので、接続情報は、鉄道区間が持つ辺から算出する。		

A.2.3. 交通施設パッケージ

交通施設パッケージは、道路、鉄道における基本的な施設地物を集めたものである。対象地物は、全ての施設の共通化要素を持つ抽象化された交通施設と、地物型として定義されている橋、トンネル、雪覆い、駅である。なお、定義されている各地物は、別の地物カタログを参照していない。

地物	交通施設		
定義	道路、鉄道における施設を表す抽象地物。		
備考	交通施設としての共通属性を集めた抽象地物として定義され、実際のインスタンスは、交通施設クラスから派生する橋、トンネル、雪覆い、駅の地物クラスから生成される。 交通施設は、空間属性については設定しておらず、具体的な道路区間や鉄道区間の地物を参照することで、空間的な情報を算出する。		
抽象/具象区分	抽象		
主題属性			
属性名	名称	多重度	0..1 型 CharacterString
定義	交通施設の名称を記載する。		
属性名	存在期間	多重度	0..1 型 TM_Period
定義	地物が有効である期間を示す。		
備考	不明等の場合、「存在期間」属性を記述しない。		

地物	橋		
定義	道路、鉄道の橋。		
上位クラス	交通施設		
抽象/具象区分	具象		

地物	トンネル		
定義	道路、鉄道のトンネル。		
上位クラス	交通施設		
抽象/具象区分	具象		

地物	雪覆い		
定義	道路、鉄道の雪覆い。		
上位クラス	交通施設		
抽象/具象区分	具象		

地物	駅
定義	鉄道の駅。
上位クラス	交通施設
抽象/具象区分	具象

A.2.4. 行政パッケージ

行政パッケージは、行政界を構成する基本的な地物を集めたものである。対象地物は、地物型として定義されている行政区域、行政界、行政界節点、及び水部パッケージで定義される水域界（海岸線、河口）である。なお、定義されている各地物は、別の地物カタログを参照していない。

地物	行政区域				
定義	属する自治体等により区別が可能な、一つの面のみで構成される区域。空間属性は GM_Surface で表現され、飛び地などは、それぞれ別の行政区域地物として扱う。				
抽象/具象区分	具象				
空間属性					
属性名	面	多重度	1	型	GM_Surface
定義	行政界及び水域界（海岸線、河口）の GM_Curve で構成される閉じた面。				
属性名	代表点	多重度	1	型	GM_Point
定義	行政区域の区域内部に配置された点。				
備考	その空間的位置は、属する行政区域内部にあるものとする。				
主題属性					
属性名	行政コード	多重度	0..1	型	Integer
定義	市区町村などを区別するために利用されている JIS X 0402 で定められた 5 桁の全国地方公共団体コード。 ただし、行政区域の種別が、「都道府県」、「北海道の支庁」の場合は、5 桁の最初 2 桁に都道府県コードを記載し、残りの 3 桁は 0 とする。例えば、東京都の区域の場合は、“13000” とする。行政区域の種別が、「大字町丁目」の場合は、その属する自治体の全国地方公共団体コードを記載する。 所属する自治体が不明の場合は、行政コードを記述しないものとする。				
備考	財団法人自治情報センターで提供している全国地方自治体コードの 4~5 桁の整数値。 現在の仕様で定義するデータについては、市区町村レベルの区域であるので、実際には「都道府県」、「北海道の支庁」の区域は存在しない。				
属性名	名称	多重度	0..1	型	CharacterString
定義	属する自治体等の名称を記載する。ただし属するより大きなレベルの自治体名は省略するものとする。例えば、行政区域の行政コードが“13101”（東京都千代田区）の場合、名称は、“千代田区”とする。ただし、政令指定都市の区名の場合は、属する政令指定都市名を付けた名称とする。例えば、行政区域の行政コードが“11107”（埼玉県さいたま市浦和区）の場合は、“さいたま市浦和区”とする。				
備考	都道府県の場合は、末尾の‘道’、‘県’、‘都’、‘府’を含めるものとする。				
属性名	種別	多重度	1	型	行政区域種別
定義	区域が示す行政レベルを示す。				
備考	予め列挙型として定義される下記の数字で示す。 1 = 都道府県 2 = 北海道の支庁 3 = 郡市または東京都特別区 4 = 町村または指定都市の区 5 = 大字町丁目				
属性名	存在期間	多重度	0..1	型	TM_Period

定義	地物が有効である期間を示す。 行政区域の場合、市区町村の合併などにより期日が定まり、その期日は公示に示される日付とする。
備考	不明等の場合、「存在期間」属性を記述しない。

地物	行政界				
定義	都道府県、支庁、郡市区町村の行政的な境界を表す線状地物。なお、境界が未確定の場合に設置する仮想的な線も行政界に含む。				
備考	行政界は、図式-データ形式で記述された地形図原データのうち、「行政界」について抽出したものである。				
抽象/具象区分	具象				
空間属性					
属性名	線	多重度	1	型	GM_Curve
定義	行政界を構成する線。				
属性名	辺	多重度	1	型	TP_Edge
定義	行政界の接続情報を保存するための位相属性。				
主題属性					
属性名	種別	多重度	1	型	行政界種別
定義	行政レベルを示す。 もし、複数の行政レベルを兼ねる場合は、上位の行政レベルを示す（例えば、都道府県界と市の境界を兼ねる場合は、都道府県界とする）。				
備考	予め列挙型として定義される下記の数字で示す。 1 = 都道府県界 2 = 北海道の支庁界 3 = 郡市または東京都特別区界 4 = 町村または指定都市の区界 5 = 大字町丁目界				
属性名	状態	多重度	1	型	行政界状態
定義	行政界が境界として確定しているか、又は、未確定かどうかを判別するためのコード。				
備考	予め列挙型として定義される下記の数字で示す。 1 = 確定境界 2 = 未定境界				

地物	行政界節点				
定義	行政界の端点に位置する行政界の接続情報を提供する点。				
抽象/具象区分	具象				
空間属性					
属性名	点	多重度	1	型	GM_Point
定義	行政界節点の位置情報を格納する。				
備考	含まれる行政界の該当する端点の空間的位置と一致する。				
属性名	節	多重度	1	型	TP_Node
定義	行政界における接続情報を提供するための位相属性。				
備考	節は、接続する辺を格納するための spoke 属性を持たないので、接続情報は、行政界が持つ辺から算出する。				

A.2.5. 水部パッケージ

水部パッケージは、湖沼や河川域を示す水域や海岸線のほか、河川ネットワークを構成する

基本的な地物を集めたものである。対象地物は、地物型として定義されている水域、水域界、水域界節点、河川区間、及び河川節点である。なお、定義されている各地物は、別の地物カタログを参照していない。

地物	水域				
定義	湖沼や河川域を示す区域。水域界および行政界で閉じられる一つの面のみから成る区域で、水域内の陸部は除く。空間属性は GM_Surface で表現される。				
抽象/具象区分	具象				
空間属性					
属性名	面	多重度	1	型	GM_Surface
定義	行政界及び水域界の GM_Curve で構成される閉じた面。				
主題属性					
属性名	名称	多重度	0..1	型	CharacterString
定義	主な湖沼名や河川名を記載する。				
備考	不明の場合は、「名称」属性を記述しない。				

地物	水域界				
定義	海岸線や水域を構成する線状地物。				
備考	水域界は、図式-データ形式で記述された地形図原データのうち、「水涯線」について抽出したものである。				
抽象/具象区分	具象				
空間属性					
属性名	線	多重度	1	型	GM_Curve
定義	水域界を構成する線。				
属性名	辺	多重度	1	型	TP_Edge
定義	水域界の接続情報を保存するための位相属性。				
主題属性					
属性名	種別	多重度	1	型	水域界種別
定義	水域界の種類を示す。				
備考	予め列挙型として定義される下記の数字で示す。(意味は、右に記述。) 1 = 水涯線または湖岸線 (湖沼や二条河川の水涯線) 2 = 海岸線 (海部と陸部の境界) 3 = 河口 (二条河川が海に流出する河口部において、海岸線の繋がり表すもの) 8 = 湖沼界線 (二条河川が湖沼に流出または流入する湖沼と河川との境界) 99 = 水域界補助線 (水域ポリゴンを構成するために補助的に引かれた線)				

地物	水域界節点				
定義	水域界の端点に位置する水域界の接続情報を提供する点。				
抽象/具象区分	具象				
空間属性					
属性名	点	多重度	1	型	GM_Point
定義	水域界節点の位置情報を格納する。				
備考	含まれる水域界の該当する端点の空間的位置と一致する。				
属性名	節	多重度	1	型	TP_Node
定義	水域界における接続情報を提供するための位相属性。				
備考	節は、接続する辺を格納するための spoke 属性を持たないので、接続情報は、水域界が持つ辺から算出する。				

地物	河川区間		
定義	河川の接続関係を示す線状地物。		
備考	河川区間は、図式-データ形式で記述された地形図原データのうち、「河川中		

	心線」について抽出したものである。				
抽象/具象区分	具象				
空間属性					
属性名	線	多重度	1	型	GM_Curve
定義	河川区間を構成する線。				
属性名	辺	多重度	1	型	TP_Edge
定義	河川区間の接続情報を保存するための位相属性。				
主題属性					
属性名	種別	多重度	1	型	河川種別
定義	河川の種類を示す。				
備考	予め列挙型として定義される下記の数字で示す。 1 = 一条河川 2 = 二条河川 3 = 一条かれ川 4 = 二条かれ川 5 = 湖沼域内中心線				
属性名	状態	多重度	1	型	河川種別
定義	河川の状態を示す。				
備考	予め列挙型として定義される下記の数字で示す。(意味は、右に記述。) 1 = 地上 (湖沼や2条河川の水涯線) 2 = 空間の水路 (輸送管等により河川を接続する水路) 3 = 地下の水路 (地下を流れる河川や水路) 4 = そのほか (河川幅の急変部や、土堤等で間断する場合の接続線)				
属性名	名称	多重度	0..1	型	CharacterString
定義	主な河川名や湖沼名を記載する。				

地物	河川節点				
定義	河川区間の端点に位置する河川の接続情報を提供する点。				
抽象/具象区分	具象				
空間属性					
属性名	点	多重度	1	型	GM_Point
定義	河川節点の位置情報を格納する。				
備考	含まれる河川区間の該当する端点の空間的位置と一致する。				
属性名	節	多重度	1	型	TP_Node
定義	河川区間における接続情報を提供するための位相属性。				
備考	節は、接続する辺を格納するための spoke を持たないので、接続情報は、河川区間が持つ辺から算出する。				

A.2.6. 基準点パッケージ

基準点パッケージは、基準点に関する基本的な地物を集めたものである。対象地物は、地物型として定義されている基準点である。なお、定義されている各地物は、別の地物カタログを参照していない。

地物	基準点				
定義	国土地理院が設置する水準点、三角点、電子基準点を表す点状地物。				
備考	基準点は、図式-データ形式で記述された地形図原データのうち、「基準点・標高」について抽出したものである。				
抽象/具象区分	具象				
空間属性					
属性名	点	多重度	1	型	GM_Point

定義	基準点の水平方向の位置を示す幾何属性。				
主題属性					
属性名	名称	多重度	0..1	型	CharacterString
定義	基準点名を記載する。				
属性名	種類	多重度	1	型	基準点種類
定義	基準点の種類を示す。				
備考	予め列挙型として定義される下記の数字で示す。 1 = 水準点 8 = 三角点 9 = 電子基準点				
属性名	等級	多重度	0..1	型	基準点等級
定義	基準点の等級を示す。				
備考	予め列挙型として定義される下記の数字で示す。 0 = 基準点以外 1 = 一等 2 = 二等 3 = 三等 4 = 四等 5 = 五等 6 = 図等 7 = 復興基準点 8 = 小等 10 = 基準水準点 11 = 道路水準点 12 = 準道路水準点 13 = 交差点 14 = 渡海水準点 15 = 験潮所附属水準点 16 = 無号・固定点				
属性名	標高	多重度	0..1	型	Real
定義	基準点の標高を記載する。標高の基準面については基本的に東京湾平均海面であるが、離島などでは、基準面が異なる場合がある。基準面が異なる場合は、データセット内の座標参照系において、適切な基準面に対応する参照識別子（地理情報標準プロファイル(JPGIS)を参照）が記述される。 例： 佐渡島の基準面の参照識別子：“SADO-29”				
備考	単位は、m（メートル）とする。				

A.2.7. 公共施設パッケージ

公共施設パッケージは、公共施設に関する基本的な地物を集めたものである。対象地物は、地物型として定義されている公共施設である。なお、定義されている各地物は、別の地物カタログを参照していない。

地物	公共施設				
定義	公共施設を表す点状地物。				
備考	公共施設は、図式-データ形式で記述された地形図原データのうち、「公共施設」について抽出したものである。				
抽象/具象区分	具象				
空間属性					
属性名	点	多重度	1	型	GM_Point
定義	公共施設の水平方向の位置を示す幾何属性。				
主題属性					

属性名	種類	多重度	1	型	公共施設種類
定義	公共施設の種類を示す。				
備考	予め列挙型として定義される下記の数字で示す。 11 = 国の機関 12 = 地方の機関 13 = 厚生機関 14 = 警察機関 15 = 消防署 16 = 学校 17 = 病院 18 = 郵便局 30 = 他の公共施設				
属性名	名称	多重度	0..1	型	CharacterString
定義	公共施設の名称を記載する。				
属性名	所在地	多重度	0..1	型	CharacterString
定義	公共施設の位置する所在地を示す。				
備考	所在地は、住所表記の文字列で記述する。				

A.2.8. 地名パッケージ

地名パッケージは、地名に関する基本的な地物を集めたものである。対象地物は、地物型として定義されている地名である。なお、定義されている各地物は、別の地物カタログを参照していない。

地物	地名				
定義	地名を表す点状地物。				
備考	地名は、図式-データ形式で記述された地形図原データのうち、「注記」について抽出したものである。				
抽象/具象区分	具象				
空間属性					
属性名	点	多重度	1	型	GM_Point
定義	地名が表す適当な位置を示す幾何属性。				
主題属性					
属性名	名称	多重度	0..1	型	CharacterString
定義	地名を記載する。				
属性名	種類	多重度	1	型	地名種類
定義	地名の種類を示す。				
備考	予め列挙型として定義される下記の数字で示す。 2 = 居住地名 3 = 自然地名 4 = 交通施設 5 = 土地の利用景				

A.2.9. メッシュ標高パッケージ

メッシュ標高パッケージは、メッシュに分けた各代表点における標高を集めたものである。対象地物は、地物型として定義されているメッシュ標高である。なお、定義されている各地物は、別の地物カタログを参照していない。

地物	メッシュ標高				
定義	メッシュの代表点毎の標高点を表す点状地物。				
抽象/具象区分	具象				

空間属性					
属性名	点	多重度	1	型	GM_Point
定義	緯度、経度方向についてそれぞれ 2 秒間隔に区分けされたメッシュの代表点を表す幾何属性。				
主題属性					
属性名	標高	多重度	1	型	Real
定義	メッシュ代表点の標高を記載する。				
備考	単位は、m (メートル) とする。				

附属書 B

数値地図 25000（空間データ基盤） - 符号化規則

B.1. 書式名称

数値地図 25000（空間データ基盤）-符号化規則

B.2. 符号化要件

1) 応用スキーマとスキーマ言語

対象となる応用スキーマは、本仕様で定義したものであり、スキーマ言語は、JPGIS 1.0 で指定されている OMG UML 1.3 で記述されたものとする。

2) 文字レパートリと言語

スキーマ及びデータ共に UTF-8 を用いるものとする。

3) データ集合とオブジェクト識別

データのインスタンスを識別するものとして、JPGIS 1.0 で規定されている、XML の ID メカニズムに基づく、データ集合で一意となるオブジェクト識別子を使用する。

B.3. 入力データ構造

JPGIS 1.0 の「附属書 8(参考) XML に基づく符号化規則」を使用する。

B.4. 出力データ構造

JPGIS 1.0 の「附属書 8(参考) XML に基づく符号化規則」を使用する。XML の版は、W3C XML1.0 とし、そのデータ構造の定義及び妥当性の検証には、W3C XML Schema を用いる。

B.5. 変換規則

JPGIS 1.0 の「附属書 8(参考) XML に基づく符号化規則」を使用する。

数値地図 25000（空間データ基盤）データ（以下、「25000 データ」という。）の各 XML 形式のデータファイルが参照する XML Schema は、JPGIS 1.0 の標準スキーマ及び、本附属書で定める 25000 データ固有のスキーマである。

B.5.1. 行政界・海岸線データの XML スキーマファイル

25000 データ固有の XML スキーマのファイル名は、“dm25000sdf.xsd” とする。

B.5.2. スキーマ変換規則

JPGIS 1.0 の「附属書 8(参考) XML に基づく符号化規則」を使用する。

B.5.2.1. タグ名

応用スキーマに定められている各地物やその属性に対する XML 符号化時の要素名や属性名は、そのまま応用スキーマで定められている日本語文字列を使用する。

B.5.2.2. 名前空間

25000 データ固有の XML スキーマに設定する名前空間及び名前空間接頭辞は、下記のとおりとする。

名前空間：http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis/schema/dm25000sdfSchema_jp/200603
名前空間接頭辞：`sdf25k`

B.5.2.3. インスタンス変換規則

この項では、IM_Object 型に関連付けられる各地物や幾何等のオブジェクト毎に、下記に定める書式に従ったオブジェクト識別子を設定する。各オブジェクトは、25000 データに関するファイルのデータ集合全体において一意であるものとする。

オブジェクト識別子を構成する文字列の書式は、W3C XML1.0 で利用されている BNF 記法で定め、また、必要に応じて内容について補足している。

下記に共通する文字クラスを定める。

digit ::= [#x0030-#x0039]

negative ::= ‘_’

negative : 負の数を表す場合の接頭辞記号‘_’(マイナス)を代用するアンダーバー文字列 (::=#005F)。

SerialNum ::= digit digit digit digit digit digit digit digit

SerialNum : 8桁の数字列 (10進)。各地物毎に連続して地物に割り当てられるが、必ずしも連続した数字が並ぶとは限らない。

- 1) データ集合(Dataset 型 / 本仕様に付属する XML Schema で定義)

::= “dm25000sdf_” “mh_”? DateOfPublication AdminCode

“mh_”? : データセットが、メッシュ標高データの場合に、追記する文字列。

DateOfPublication ::= digit digit digit digit digit digit

DateOfPublication : データの刊行年月を6桁の数字で記載する。刊行年(西暦表示)の4桁の数字と、刊行月の2桁の数字を並べたもの。それぞれ右詰で、桁を満たさない場合は、‘0’ (::=#x0030) で埋める。

AdminCode ::= digit digit digit digit digit

AdminCode : 地方公共団体コードを表す5桁の整数値。右詰で、桁を満たさない場合は‘0’ (::=#x0030) で埋める。

(例) “dm25000sdk_200603_08220” (平成18年4月刊行の茨城県つくば市のデータセット)

道路パッケージ

- 1) 道路区間

::= “RoL” Classification SerialNum

Classification ::= digit digit

Classification : 2桁の数字列で、属性「道路種別」における該当する数値。右詰で、桁を満たさない場合は‘0’ (::=#x0030) で埋める。

(例) “RoL0300000001”

- 2) 道路区間::線が参照する GM_Curve 型オブジェクト

::= negative? “cRoL” SerialNum

(例) “cRoL00000001”

- 3) 道路区間::辺が参照する TP_Edge 型オブジェクト

::= negative? “eRoL” SerialNum

(例) “eRoL00000001”

- 4) 道路節点

::= “RoN” SerialNum

(例) “RoN00000001”

- 5) 道路節点.点が参照する GM_Point 型オブジェクト

::= “pRoN” SerialNum

(例) “pRoN00000001”

- 6) 道路節点.節が参照する TP_Node 型オブジェクト

::= negative? “nRoN” SerialNum

(例) “nRoN00000001”

鉄道パッケージ

- 7) 鉄道区間

::= “RaL” Classification SerialNum

Classification ::= digit digit

Classification : 2桁の数字列で、属性「鉄道種別」における該当する数値。右詰で、桁を満たさない場合は‘0’ (::=#x0030) で埋める。

(例) “RaL0100000001”

- 8) 鉄道区間::線が参照する GM_Curve 型オブジェクト

::= negative? “cRaL” SerialNum

(例) “cRaL00000001”

- 9) 鉄道区間::辺が参照する TP_Edge 型オブジェクト

::= negative? “eRaL” SerialNum

- (例) “eRaL00000001”
- 10) 鉄道節点
 ::= “RaN” SerialNum
 (例) “RaN00000001”
- 11) 鉄道節点.点が参照する GM_Point 型オブジェクト
 ::= “pRaN” SerialNum
 (例) “pRaN00000001”
- 12) 鉄道節点.節が参照する TP_Node 型オブジェクト
 ::= negative? “nRaN” SerialNum
 (例) “nRaN00000001”
- 交通施設パッケージ**
- 13) 橋
 ::= “BrL” SerialNum
 (例) “BrL00000001”
- 14) トンネル
 ::= “TnL” SerialNum
 (例) “TnL00000001”
- 15) 雪覆い
 ::= “SnL” SerialNum
 (例) “SnL00000001”
- 16) 駅
 ::= “StL” SerialNum
 (例) “StL00000001”
- 行政パッケージ**
- 17) 行政区域
 ::= “AdA” AdminCode SerialNum
 AdminCode ::= digit digit digit digit digit
 AdminCode : 応用スキーマにおいて「行政区域.行政コード」属性における数値。右詰
 で、桁を満たさない場合は‘0’ (::=#x0030) で埋める。行政コードが不明の場合
 は、“00000”とする。
 (例) “AdA11109000000001”
- 18) 行政区域.面が参照する GM_Surface 型オブジェクト
 ::= “sAdA” SerialNum
 (例) “sAdA000000001”
- 19) 行政区域.面.exterior における GM_Ring 型オブジェクト
 ::= “reAdA” SerialNum
 (例) “reAdA000000001”
- 20) 行政区域.面.interior における GM_Ring 型オブジェクト
 ::= “riAdA” SerialNum
 (例) “riAdA000000001”
- 21) 行政区域.代表点 (GM_Point 型)
 ::= “pAdA” SerialNum
 (例) “pAdA000000001”
- 22) 行政区
 ::= “AdL” Classification SerialNum
 Classification ::= digit digit
 Classification : 2 桁の数字列で、属性「行政区.種別」における該当する数値。右詰で、
 桁を満たさない場合は‘0’ (::=#x0030) で埋める。
 (例) “AdL0100000001”
- 23) 行政区.線が参照する GM_Curve 型オブジェクト
 ::= negative? “cAdL” SerialNum
 (例) “cAdL000000001”
- 24) 行政区.辺が参照する TP_Edge 型オブジェクト
 ::= negative? “eAdL” SerialNum

- (例) “eAdL00000001”
- 25) 行政界節点
::= “AdN” SerialNum
(例) “AdN00000001”
- 26) 行政界節点.点が参照する GM_Point 型オブジェクト
::= “pAdN” SerialNum
(例) “pAdN00000001”
- 27) 行政界節点.節が参照する TP_Node 型オブジェクト
::= negative? “nAdN” SerialNum
(例) “nAdN00000001”

水部パッケージ

- 28) 水域
::= “WaA” SerialNum
(例) “WaA00000001”
- 29) 水域.面が参照する GM_Surface 型オブジェクト
::= “sWaA” SerialNum
(例) “sWaA00000001”
- 30) 水域.面.exterior における GM_Ring 型オブジェクト
::= “reWaA” SerialNum
(例) “reWaA00000001”
- 31) 水域.面.interior における GM_Ring 型オブジェクト
::= “riWaA” SerialNum
(例) “riWaA00000001”
- 32) 水域界
::= “WaL” Classification SerialNum
Classification ::= digit digit
Classification : 2桁の数字列で、属性「水域界.種別」における該当する数値。右詰で、
桁を満たさない場合は'0' (::=#x0030) で埋める。
(例) “WaL0200000001”
- 33) 水域界::線が参照する GM_Curve 型オブジェクト
::= negative? “cWaL” SerialNum
(例) “cWaL00000001”
- 34) 水域界::辺が参照する TP_Edge 型オブジェクト
::= negative? “eWaL” SerialNum
(例) “eWaL00000001”
- 35) 水域界節点
::= “WaN” SerialNum
(例) “WaN00000001”
- 36) 水域界節点.点が参照する GM_Point 型オブジェクト
::= “pWaN” SerialNum
(例) “pWaN00000001”
- 37) 水域界節点.節が参照する TP_Node 型オブジェクト
::= negative? “nWaN” SerialNum
(例) “nWaN00000001”
- 38) 河川区間
::= “RiL” Classification SerialNum
Classification ::= digit digit
Classification : 2桁の数字列で、属性「河川区間.種別」における該当する数値。右詰で、
桁を満たさない場合は'0' (::=#x0030) で埋める。
(例) “RiL0100000001”
- 39) 河川区間::線が参照する GM_Curve 型オブジェクト
::= negative? “cRiL” SerialNum
(例) “cRiL00000001”
- 40) 河川区間::辺が参照する TP_Edge 型オブジェクト

::= negative? “eRiL” SerialNum
(例) “eRiL00000001”

41) 河川節点

::= “RiN” SerialNum
(例) “RiN00000001”

42) 河川節点.点が参照する GM_Point 型オブジェクト

::= “pRiN” SerialNum
(例) “pRiN00000001”

43) 河川節点.節が参照する TP_Node 型オブジェクト

::= negative? “nRiN” SerialNum
(例) “nRiN00000001”

基準点パッケージ

44) 基準点

::= “CpP” Classification SerialNum
Classification ::= digit digit

Classification : 2桁の数字列で、属性「基準点.種類」における該当する数値。右詰で、桁を満たさない場合は'0' (::=#x0030) で埋める。

(例) “CpP0800000001”

45) 基準点.点が参照する GM_Point 型オブジェクト

::= “pCpP” SerialNum
(例) “pCpP00000001”

公共施設パッケージ

46) 公共施設

::= “PfP” Classification SerialNum
Classification ::= digit digit

Classification : 2桁の数字列で、属性「公共施設.種類」における該当する数値。右詰で、桁を満たさない場合は'0' (::=#x0030) で埋める。

(例) “PfP1400000001”

47) 公共施設.点が参照する GM_Point 型オブジェクト

::= “pPfP” SerialNum
(例) “pPfP00000001”

地名パッケージ

46) 地名

::= “LaP” Classification SerialNum
Classification ::= digit digit

Classification : 2桁の数字列で、属性「地名.種類」における該当する数値。右詰で、桁を満たさない場合は'0' (::=#x0030) で埋める。

(例) “LaP2000000001”

47) 地名.点が参照する GM_Point 型オブジェクト

::= “pLaP” SerialNum
(例) “pLaP00000001”

メッシュ標高パッケージ

48) メッシュ標高

::= “MhP” SerialNum
(例) “MhP2000000001”

49) メッシュ標高.点が参照する GM_Point 型オブジェクト

::= “pMhP” SerialNum
(例) “pMhP00000001”

線として実現される GM_Curve 型オブジェクトについては、逆方向の幾何オブジェクトについても実装し、GM_OrientablePrimitive 型の proxy でお互いを参照する。なお、逆方向のオブジェクトの ID は、元の幾何オブジェクトの ID の接頭に ‘_’ (#x5F) を付けるものとする。

節として実現される TP_Node 型オブジェクトについては、逆方向の位相オブジェクトについても、TM_Primitive 型の proxy として実装する。なお、逆方向のオブジェクトの ID は、元の位相オブジェクトの ID の接頭に ‘_’ (#x5F) を付けるものとする。

B.5.2.3. 変換規則におけるそのほかの事項

1) 交換メタデータとデータセット部

行政界・海岸線データの XML ファイルには、ルートとして” GI” 要素が置かれ、その中に、交換メタデータ部 (“ exchangeMetadata” 要素) 及びデータセット部 (“ dataset” 要素) が置かれる。

交換メタデータ部は、JPGIS 1.0 の「附属書 8(参考) XML に基づく符号化規則」に従い、データセットを説明する情報が記述される。

データセット部は、応用スキーマで定義されたデータ集合が、格納される。

2) GM_Curve におけるラインセグメント

GM_Curve における、役割 segment の多重度は 1..* であり、複数の segment オブジェクトを持つことができる。しかし、本規則においては、多重度 1 とし、制限をする。従って、一つの GM_Curve 型地物は、ひとつだけ segment オブジェクトを持つ。

3) GM_Surface におけるパッチと複数ポリゴン

GM_Surface における、役割 patch の多重度は 1..* であり、複数の patch オブジェクトを持つことができる。しかし、本規則においては、多重度 1 とし、制限をする。従って、一つの GM_Surface 型地物は、ひとつだけ patch オブジェクトを持つ。

4) 緯度経度の記述

実際の座標値は、GM_DirectPosition 型において、実数文字列の並び (Sequence_Number 型) として記述される。座標値は、緯度値、経度値の順番とし、緯度値と経度値の間にスペース (#x20) が挿入される。

座標値の文字列形式は、総秒表示とし、小数点以下 4 桁とする。

5) 線 (GM_Curve 型) の端点と節点

線が持つ GM_Curve におけるラインセグメントは、複数の GM_Position 型の点列で構成され、最初と最後の GM_Position 型オブジェクトが端点となる。線は必ず位相的に両端に節 (ノード) を持つことになっているので、端点は、GM_Position.indirect で実装し、該当する節点の GM_Point の参照する。

6) 行政界と水域界の共通節点

行政区域が、行政界と水域界の両方で構成されている場合、ある行政界の端点とある水域界の端点において位置が重なる節点が存在する。その場合、それぞれに節点を持たせずに、共通の節点として水域界節点のみを設置し、行政界の端点は、この水域界節点を参照する。

同様に水域界が、行政界と水域界両方で構成されている場合、行政界と水域界が接続する端点は、水域界節点とし、行政界の端点は、この水域界節点を参照する。

7) 外字について

地名などの名称で外字 (ユニコードに対応した文字で、Microsoft 社製 Windows に標準のフォント「MS ゴシック」に無いもの) が存在する場合、電子計算機上での処理効率を鑑み、最も字体の形状が近似する文字で代替する。適切な宛字が無い場合は、読みをカナで記述する。使用されている外字については別途提供する一覧表に記載する。

なお、行政パッケージにおける名称 (市区町村名) については、外字とせずに全てインターネット等で既に一般的に利用されている文字で記述する。

B.5.2.4. 数値地図 25000 (空間データ基盤) データ固有の XML スキーマ

25000 データ固有の XML スキーマの記述ファイル (“dm25000sdf.xsd”) について、その印刷出力を附属書 C にて記載する。なお、便宜上、左マージンに行番号が印刷されている。

B.6. 言語

日本語

B.7. 配布媒体情報

B.7.1. 単位

都道府県（北海道は、7つの地域）単位毎にそれぞれを CD-ROM に格納する。

附属書 C

数値地図 25000 (空間データ基盤) - XML Schema 記述

"dm25000sdf.xsd" ファイルの出力

```
1 <?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
2
3 <xs:schema targetNamespace="http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis/schema/dm25000sdfSchema_jp/200603"
4   xmlns:xs="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
5   xmlns:jps="http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis/standardSchemas"
6   xmlns:sdf25k="http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis/schema/dm25000sdfSchema_jp/200603"
7   elementFormDefault="unqualified" attributeFormDefault="unqualified" >
8   <xs:import namespace="http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis/standardSchemas" schemaLocation="./jpgis_schemata/jpsRoot.xsd" />
9
10
11   <xs:element name="GI">
12     <xs:complexType>
13       <xs:sequence>
14         <xs:element name="exchangeMetadata" type="jps:ExchangeMetadata" minOccurs="0" maxOccurs="1" />
15         <xs:element name="dataset" type="sdf25k:Dataset" minOccurs="0" maxOccurs="1" />
16       </xs:sequence>
17       <xs:attribute name="version" type="jps:CharacterString" use="required" fixed="1.0" />
18       <xs:attribute name="timeStamp" type="jps:DateTime" use="required" />
19     </xs:complexType>
20   </xs:element>
21
22   <xs:complexType name="Dataset">
23     <xs:sequence>
24       <xs:element name="crs" type="jps:RS_CRS" minOccurs="0" maxOccurs="2" />
25       <xs:choice minOccurs="0" maxOccurs="unbounded">
26         <xs:element name="道路区間" type="sdf25k:道路区間" />
27         <xs:element name="道路節点" type="sdf25k:道路節点" />
28         <xs:element name="鉄道区間" type="sdf25k:鉄道区間" />
29         <xs:element name="鉄道節点" type="sdf25k:鉄道節点" />
30         <xs:element name="橋" type="sdf25k:橋" />
31         <xs:element name="トンネル" type="sdf25k:トンネル" />
32         <xs:element name="雪覆い" type="sdf25k:雪覆い" />
33         <xs:element name="駅" type="sdf25k:駅" />
34         <xs:element name="行政区域" type="sdf25k:行政区域" />
35         <xs:element name="行政界" type="sdf25k:行政界" />
36         <xs:element name="行政界節点" type="sdf25k:行政界節点" />
37         <xs:element name="水域" type="sdf25k:水域" />
38         <xs:element name="水域界" type="sdf25k:水域界" />
39         <xs:element name="水域界節点" type="sdf25k:水域界節点" />
40         <xs:element name="河川区間" type="sdf25k:河川区間" />
41         <xs:element name="河川節点" type="sdf25k:河川節点" />
42         <xs:element name="基準点" type="sdf25k:基準点" />
43         <xs:element name="公共施設" type="sdf25k:公共施設" />
44         <xs:element name="地名" type="sdf25k:地名" />
45         <xs:element name="メッシュ標高" type="sdf25k:メッシュ標高" />
46         <xs:element ref="jps:GM_Surface" />
47         <xs:element ref="jps:GM_Curve" />
48         <xs:element ref="jps:GM_OrientableCurve" />
49         <xs:element ref="jps:TP_Edge" />
50         <xs:element ref="jps:GM_Point" />
51         <xs:element ref="jps:TP_Node" />
52       </xs:choice>
53     </xs:sequence>
54     <xs:attributeGroup ref="jps:IM_Object" />
55   </xs:complexType>
56
57
58   <!-- ##### 各地物の定義 ##### -->
59
60   <xs:complexType name="道路区間">
61     <xs:complexContent>
```

```

63     <xs:extension base="jps:IM_Object">
64         <xs:sequence>
65             <xs:element name="種別" type="sdf25k:道路種別" />
66             <xs:element name="状態" type="sdf25k:道路状態" />
67             <xs:element name="幅員" type="sdf25k:道路幅員" />
68             <xs:element name="有料" type="jps:Boolean" />
69             <xs:element name="名称" type="jps:CharacterString" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded" />
70             <xs:element name="国道番号" type="jps:Integer" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded" />
71             <xs:element name="存在期間" type="jps:TM_Period" minOccurs="0" />
72             <xs:element name="道路施設" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded">
73                 <xs:complexType>
74                     <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference"/>
75                 </xs:complexType>
76             </xs:element>
77             <xs:element name="線">
78                 <xs:complexType>
79                     <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference"/>
80                 </xs:complexType>
81             </xs:element>
82             <xs:element name="辺">
83                 <xs:complexType>
84                     <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference"/>
85                 </xs:complexType>
86             </xs:element>
87         </xs:sequence>
88     </xs:extension>
89 </xs:complexContent>
90 </xs:complexType>
91
92 <xs:complexType name="道路節点">
93     <xs:complexContent>
94         <xs:extension base="jps:IM_Object">
95             <xs:sequence>
96                 <xs:element name="点">
97                     <xs:complexType>
98                         <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference"/>
99                     </xs:complexType>
100                </xs:element>
101                <xs:element name="節">
102                    <xs:complexType>
103                        <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference"/>
104                    </xs:complexType>
105                </xs:element>
106            </xs:sequence>
107        </xs:extension>
108    </xs:complexContent>
109 </xs:complexType>
110
111
112 <xs:complexType name="鉄道区間">
113     <xs:complexContent>
114         <xs:extension base="jps:IM_Object">
115             <xs:sequence>
116                 <xs:element name="種別" type="sdf25k:鉄道種別" />
117                 <xs:element name="状態" type="sdf25k:鉄道状態" />
118                 <xs:element name="名称" type="jps:CharacterString" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded" />
119                 <xs:element name="存在期間" type="jps:TM_Period" minOccurs="0" />
120                 <xs:element name="鉄道施設" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded">
121                     <xs:complexType>
122                         <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference"/>
123                     </xs:complexType>
124                 </xs:element>
125                 <xs:element name="線">
126                     <xs:complexType>
127                         <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference"/>
128                     </xs:complexType>
129                 </xs:element>
130                 <xs:element name="辺">
131                     <xs:complexType>
132                         <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference"/>
133                     </xs:complexType>

```

```

134         </xs:element>
135     </xs:sequence>
136 </xs:extension>
137 </xs:complexContent>
138 </xs:complexType>
139
140 <xs:complexType name="鉄道節点">
141     <xs:complexContent>
142         <xs:extension base="jps:IM_Object">
143             <xs:sequence>
144                 <xs:element name="点">
145                     <xs:complexType>
146                         <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference"/>
147                     </xs:complexType>
148                 </xs:element>
149                 <xs:element name="節">
150                     <xs:complexType>
151                         <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference"/>
152                     </xs:complexType>
153                 </xs:element>
154             </xs:sequence>
155         </xs:extension>
156     </xs:complexContent>
157 </xs:complexType>
158
159
160 <xs:complexType name="交通施設" abstract="true">
161     <xs:complexContent>
162         <xs:extension base="jps:IM_Object">
163             <xs:sequence>
164                 <xs:element name="名称" type="jps:CharacterString" minOccurs="0" />
165                 <xs:element name="存在期間" type="jps:TM_Period" minOccurs="0" />
166                 <xs:element name="道路区間" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded">
167                     <xs:complexType>
168                         <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference"/>
169                     </xs:complexType>
170                 </xs:element>
171                 <xs:element name="鉄道区間" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded">
172                     <xs:complexType>
173                         <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference"/>
174                     </xs:complexType>
175                 </xs:element>
176             </xs:sequence>
177         </xs:extension>
178     </xs:complexContent>
179 </xs:complexType>
180
181 <xs:complexType name="橋">
182     <xs:complexContent>
183         <xs:extension base="sdf25k:交通施設">
184             <xs:sequence>
185                 </xs:sequence>
186             </xs:extension>
187         </xs:complexContent>
188     </xs:complexType>
189
190 <xs:complexType name="トンネル">
191     <xs:complexContent>
192         <xs:extension base="sdf25k:交通施設">
193             <xs:sequence>
194                 </xs:sequence>
195             </xs:extension>
196         </xs:complexContent>
197     </xs:complexType>
198
199 <xs:complexType name="雪覆い">
200     <xs:complexContent>
201         <xs:extension base="sdf25k:交通施設">
202             <xs:sequence>
203                 </xs:sequence>
204             </xs:extension>
205         </xs:complexContent>

```

```

206 </xs:complexType>
207
208 <xs:complexType name="駅">
209   <xs:complexContent>
210     <xs:extension base="sdf25k:交通施設">
211       <xs:sequence>
212         </xs:sequence>
213       </xs:extension>
214     </xs:complexContent>
215   </xs:complexType>
216
217
218 <xs:complexType name="行政区域">
219   <xs:complexContent>
220     <xs:extension base="jps:IM_Object">
221       <xs:sequence>
222         <xs:element name="行政コード" type="jps:Integer" minOccurs="0" />
223         <xs:element name="名称" type="jps:CharacterString" minOccurs="0" />
224         <xs:element name="種別" type="sdf25k:行政区域種別" />
225         <xs:element name="代表点" type="jps:GM_Point" />
226         <xs:element name="存在期間" type="jps:TM_Period" minOccurs="0" />
227         <xs:element name="面">
228           <xs:complexType>
229             <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference"/>
230           </xs:complexType>
231         </xs:element>
232       </xs:sequence>
233     </xs:extension>
234   </xs:complexContent>
235 </xs:complexType>
236
237 <xs:complexType name="行政界">
238   <xs:complexContent>
239     <xs:extension base="jps:IM_Object">
240       <xs:sequence>
241         <xs:element name="種別" type="sdf25k:行政界種別" />
242         <xs:element name="状態" type="sdf25k:行政界状態" />
243         <xs:element name="線">
244           <xs:complexType>
245             <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference"/>
246           </xs:complexType>
247         </xs:element>
248         <xs:element name="辺">
249           <xs:complexType>
250             <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference"/>
251           </xs:complexType>
252         </xs:element>
253       </xs:sequence>
254     </xs:extension>
255   </xs:complexContent>
256 </xs:complexType>
257
258 <xs:complexType name="行政界節点">
259   <xs:complexContent>
260     <xs:extension base="jps:IM_Object">
261       <xs:sequence>
262         <xs:element name="点">
263           <xs:complexType>
264             <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference"/>
265           </xs:complexType>
266         </xs:element>
267         <xs:element name="節">
268           <xs:complexType>
269             <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference"/>
270           </xs:complexType>
271         </xs:element>
272       </xs:sequence>
273     </xs:extension>
274   </xs:complexContent>
275 </xs:complexType>
276
277

```

```

278 <xs:complexType name="水域">
279   <xs:complexContent>
280     <xs:extension base="jps:IM_Object">
281       <xs:sequence>
282         <xs:element name="名称" type="jps:CharacterString" minOccurs="0" />
283         <xs:element name="面">
284           <xs:complexType>
285             <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference"/>
286           </xs:complexType>
287         </xs:element>
288       </xs:sequence>
289     </xs:extension>
290   </xs:complexContent>
291 </xs:complexType>
292
293 <xs:complexType name="水域界">
294   <xs:complexContent>
295     <xs:extension base="jps:IM_Object">
296       <xs:sequence>
297         <xs:element name="種別" type="sdf25k:水域界種別" />
298         <xs:element name="線">
299           <xs:complexType>
300             <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference"/>
301           </xs:complexType>
302         </xs:element>
303         <xs:element name="辺">
304           <xs:complexType>
305             <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference"/>
306           </xs:complexType>
307         </xs:element>
308       </xs:sequence>
309     </xs:extension>
310   </xs:complexContent>
311 </xs:complexType>
312
313 <xs:complexType name="水域界節点">
314   <xs:complexContent>
315     <xs:extension base="jps:IM_Object">
316       <xs:sequence>
317         <xs:element name="点">
318           <xs:complexType>
319             <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference"/>
320           </xs:complexType>
321         </xs:element>
322         <xs:element name="節">
323           <xs:complexType>
324             <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference"/>
325           </xs:complexType>
326         </xs:element>
327       </xs:sequence>
328     </xs:extension>
329   </xs:complexContent>
330 </xs:complexType>
331
332 <xs:complexType name="河川区間">
333   <xs:complexContent>
334     <xs:extension base="jps:IM_Object">
335       <xs:sequence>
336         <xs:element name="種別" type="sdf25k:河川種別" />
337         <xs:element name="状態" type="sdf25k:河川状態" />
338         <xs:element name="名称" type="jps:CharacterString" minOccurs="0" />
339         <xs:element name="線">
340           <xs:complexType>
341             <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference"/>
342           </xs:complexType>
343         </xs:element>
344         <xs:element name="辺">
345           <xs:complexType>
346             <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference"/>
347           </xs:complexType>
348         </xs:element>
349       </xs:sequence>

```



```

350     </xs:extension>
351   </xs:complexContent>
352 </xs:complexType>
353
354 <xs:complexType name="河川節点">
355   <xs:complexContent>
356     <xs:extension base="jps:IM_Object">
357       <xs:sequence>
358         <xs:element name="点">
359           <xs:complexType>
360             <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference"/>
361           </xs:complexType>
362         </xs:element>
363         <xs:element name="節">
364           <xs:complexType>
365             <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference"/>
366           </xs:complexType>
367         </xs:element>
368       </xs:sequence>
369     </xs:extension>
370   </xs:complexContent>
371 </xs:complexType>
372
373
374 <xs:complexType name="基準点">
375   <xs:complexContent>
376     <xs:extension base="jps:IM_Object">
377       <xs:sequence>
378         <xs:element name="種類" type="sdf25k:基準点種類" />
379         <xs:element name="等級" type="sdf25k:基準点等級" minOccurs="0" />
380         <xs:element name="名称" type="jps:CharacterString" minOccurs="0" />
381         <xs:element name="標高" type="jps:Real" />
382         <xs:element name="点" type="jps:GM_Point" />
383       </xs:sequence>
384     </xs:extension>
385   </xs:complexContent>
386 </xs:complexType>
387
388
389 <xs:complexType name="公共施設">
390   <xs:complexContent>
391     <xs:extension base="jps:IM_Object">
392       <xs:sequence>
393         <xs:element name="名称" type="jps:CharacterString" minOccurs="0" />
394         <xs:element name="種類" type="sdf25k:公共施設種類" />
395         <xs:element name="所在地" type="jps:CharacterString" minOccurs="0" />
396         <xs:element name="点" type="jps:GM_Point" />
397       </xs:sequence>
398     </xs:extension>
399   </xs:complexContent>
400 </xs:complexType>
401
402
403 <xs:complexType name="地名">
404   <xs:complexContent>
405     <xs:extension base="jps:IM_Object">
406       <xs:sequence>
407         <xs:element name="名称" type="jps:CharacterString" />
408         <xs:element name="種類" type="sdf25k:地名種類" />
409         <xs:element name="点" type="jps:GM_Point" />
410       </xs:sequence>
411     </xs:extension>
412   </xs:complexContent>
413 </xs:complexType>
414
415
416 <xs:complexType name="メッシュ標高">
417   <xs:complexContent>
418     <xs:extension base="jps:IM_Object">
419       <xs:sequence>
420         <xs:element name="標高" type="jps:Real" />

```

```

421         <xs:element name="点" type="jps:GM_Point" />
422     </xs:sequence>
423 </xs:extension>
424 </xs:complexContent>
425 </xs:complexType>
426
427
428
429 <!-- #####  列挙型の定義 #####  -->
430 <xs:simpleType name="道路種別">
431     <xs:restriction base="xs:string">
432         <xs:enumeration value="1"/> <!--庭園路-->
433         <xs:enumeration value="2"/> <!--石段-->
434         <xs:enumeration value="3"/> <!--一般道-->
435         <xs:enumeration value="4"/> <!--高速道路-->
436     </xs:restriction>
437 </xs:simpleType>
438
439 <xs:simpleType name="道路状態">
440     <xs:restriction base="xs:string">
441         <xs:enumeration value="1"/> <!--供用中-->
442         <xs:enumeration value="2"/> <!--建設中-->
443     </xs:restriction>
444 </xs:simpleType>
445
446 <xs:simpleType name="道路幅員">
447     <xs:restriction base="xs:string">
448         <xs:enumeration value="1"/> <!--1.5m 未満-->
449         <xs:enumeration value="2"/> <!--1.5m 以上 3.0m 未満-->
450         <xs:enumeration value="3"/> <!--3.0m 以上 5.5m 未満-->
451         <xs:enumeration value="4"/> <!--5.5m 以上 13.0m 未満-->
452         <xs:enumeration value="5"/> <!--13.0m 以上 25.0m 未満-->
453         <xs:enumeration value="6"/> <!--25.0m 以上-->
454         <xs:enumeration value="7"/> <!--急変部-->
455     </xs:restriction>
456 </xs:simpleType>
457
458 <xs:simpleType name="鉄道種別">
459     <xs:restriction base="xs:string">
460         <xs:enumeration value="1"/> <!--普通鉄道(JR)-->
461         <xs:enumeration value="2"/> <!--普通鉄道-->
462         <xs:enumeration value="3"/> <!--路面電車-->
463         <xs:enumeration value="4"/> <!--地下式鉄道-->
464         <xs:enumeration value="5"/> <!--その他-->
465     </xs:restriction>
466 </xs:simpleType>
467
468 <xs:simpleType name="鉄道状態">
469     <xs:restriction base="xs:string">
470         <xs:enumeration value="0"/> <!--運行中-->
471         <xs:enumeration value="1"/> <!--建設中・休止中-->
472     </xs:restriction>
473 </xs:simpleType>
474
475 <xs:simpleType name="行政区域種別">
476     <xs:restriction base="xs:string">
477         <xs:enumeration value="1"/> <!--都道府県-->
478         <xs:enumeration value="2"/> <!--北海道の支庁-->
479         <xs:enumeration value="3"/> <!--郡市または東京都特別区-->
480         <xs:enumeration value="4"/> <!--町村または指定都市の区-->
481         <xs:enumeration value="5"/> <!--大字町丁目-->
482     </xs:restriction>
483 </xs:simpleType>
484
485 <xs:simpleType name="行政界種別">
486     <xs:restriction base="xs:string">
487         <xs:enumeration value="1"/> <!--都道府県界-->
488         <xs:enumeration value="2"/> <!--北海道の支庁界-->
489         <xs:enumeration value="3"/> <!--郡市または東京都特別区界-->

```

```

490     <xs:enumeration value="4"/> <!--町村または指定都市の区界-->
491     <xs:enumeration value="5"/> <!--大字町丁目界-->
492   </xs:restriction>
493 </xs:simpleType>
494
495 <xs:simpleType name="行政界状態">
496   <xs:restriction base="xs:string">
497     <xs:enumeration value="1"/> <!--確定境界-->
498     <xs:enumeration value="2"/> <!--未定境界-->
499   </xs:restriction>
500 </xs:simpleType>
501
502 <xs:simpleType name="水域界種別">
503   <xs:restriction base="xs:string">
504     <xs:enumeration value="1"/> <!--水涯線または湖岸線-->
505     <xs:enumeration value="2"/> <!--海岸線-->
506     <xs:enumeration value="3"/> <!--河口-->
507     <xs:enumeration value="8"/> <!--湖沼界線-->
508   </xs:restriction>
509 </xs:simpleType>
510
511 <xs:simpleType name="河川種別">
512   <xs:restriction base="xs:string">
513     <xs:enumeration value="1"/> <!--一条河川-->
514     <xs:enumeration value="2"/> <!--二条河川-->
515     <xs:enumeration value="3"/> <!--一条かれ川-->
516     <xs:enumeration value="4"/> <!--二条かれ川-->
517     <xs:enumeration value="5"/> <!--湖沼域内中心線-->
518   </xs:restriction>
519 </xs:simpleType>
520
521 <xs:simpleType name="河川状態">
522   <xs:restriction base="xs:string">
523     <xs:enumeration value="1"/> <!--地上-->
524     <xs:enumeration value="2"/> <!--空間の水路-->
525     <xs:enumeration value="3"/> <!--地下の水路-->
526     <xs:enumeration value="4"/> <!--その他-->
527   </xs:restriction>
528 </xs:simpleType>
529
530 <xs:simpleType name="基準点種類">
531   <xs:restriction base="xs:string">
532     <xs:enumeration value="1"/> <!--水準点-->
533     <xs:enumeration value="8"/> <!--三角点-->
534     <xs:enumeration value="9"/> <!--電子基準点-->
535   </xs:restriction>
536 </xs:simpleType>
537
538 <xs:simpleType name="基準点等級">
539   <xs:restriction base="xs:string">
540     <xs:enumeration value="0"/> <!--基準点以外-->
541     <xs:enumeration value="1"/> <!--一等-->
542     <xs:enumeration value="2"/> <!--二等-->
543     <xs:enumeration value="3"/> <!--三等-->
544     <xs:enumeration value="4"/> <!--四等-->
545     <xs:enumeration value="5"/> <!--五等-->
546     <xs:enumeration value="6"/> <!--図等-->
547     <xs:enumeration value="7"/> <!--復興-->
548     <xs:enumeration value="8"/> <!--小等-->
549     <xs:enumeration value="10"/> <!--基準水準点-->
550     <xs:enumeration value="11"/> <!--道路-->
551     <xs:enumeration value="12"/> <!--準道路-->
552     <xs:enumeration value="13"/> <!--交点-->
553     <xs:enumeration value="14"/> <!--渡海-->
554     <xs:enumeration value="15"/> <!--付属-->
555     <xs:enumeration value="16"/> <!--無号-->
556   </xs:restriction>
557 </xs:simpleType>
558

```

```
559 <xs:simpleType name="公共施設種類">
560   <xs:restriction base="xs:string">
561     <xs:enumeration value="11"/> <!--国の機関-->
562     <xs:enumeration value="12"/> <!--地方の機関-->
563     <xs:enumeration value="13"/> <!--厚生機関-->
564     <xs:enumeration value="14"/> <!--警察機関-->
565     <xs:enumeration value="15"/> <!--消防署-->
566     <xs:enumeration value="16"/> <!--学校-->
567     <xs:enumeration value="17"/> <!--病院-->
568     <xs:enumeration value="18"/> <!--郵便局-->
569     <xs:enumeration value="30"/> <!--他の公共施設-->
570   </xs:restriction>
571 </xs:simpleType>
572
573 <xs:simpleType name="地名種類">
574   <xs:restriction base="xs:string">
575     <xs:enumeration value="2"/> <!--自然地名-->
576     <xs:enumeration value="3"/> <!--土地の利用景-->
577     <xs:enumeration value="4"/> <!--居住地名-->
578     <xs:enumeration value="5"/> <!--交通施設-->
579   </xs:restriction>
580 </xs:simpleType>
581
582 </xs:schema>
```